



ジャン・ミノコの

The agricultural lecture
by Jan Minoco

にしみの 農業ドリル



やあ！暑い日が続いているけど、みんな元気かな？私はとっても元気だよ。さて、県内有数の梨産地の大垣市では、7月上旬から出荷が始まっているよ。今回は大垣市の梨のおいしさの秘密について調べてきたよ。

大垣市の梨ってどうしておいしいの？



おし
教えてくれるのは…

は せ がわ とし あき おおがきし そね
長谷川 敏明 さん (大垣市曽根)

わたしは、大垣市で唯一ハウスを利用して梨をつくっている梨農家です。昭和63年からハウスでの栽培を始め、今年15年で栽培しています。ハウスで栽培することにより露地で栽培されている梨に比べ1カ月ほど早く出荷することができています。

主力品種は「幸水」

大垣市では、曽根地区と南若森地区の農家28戸が14%の梨園で栽培しているよ。主力品種は「幸水」という梨。全国的にも多く栽培されている品種で、大垣市では、7月上旬から8月下旬まで出荷されているよ。果肉が柔らかくてみずみずしく、とっても甘い品種だよ。



おいしさの秘密は、土と水の良さ・生産者の努力があるから

大垣市曽根地区は、揖斐川が氾濫するたびに養分を多く含んだ土が運ばれてきて、それが積み重なって、農業をするのに適した土になったんだって。また、みんなも知っていると思うけど、大垣市は水が豊富にあつてきれいなことで有名だね。梨農家のみなさんも豊富な地下水を利用して梨をつくっているんだ。あとは農家のみなさんの努力があるから。毎年勉強会を開いたり、他の産地を見学したりして、栽培技術の向上を図っているよ。



減農薬で“安全・安心”がこだわり

大垣市の梨は、「ぎふクリーン農業」の登録を受けていて、化学肥料や化学合成農薬の使用回数などを通常の栽培に比べて減らして栽培しているよ。写真には、「コンフューザーN」と呼ばれている性フェロモン剤の一種。これをつけることによって、害虫の交尾を錯乱して害虫の発生を少なくしているよ。

これはなんだかわかるかな？実はこれダニの住処なんだ。ダニと言っても梨にとっては強い味方。このダニを使って梨の生育に悪影響を及ぼす「ハダニ」という種類のダニをやっつけているんだ。いろんな資材を使って農薬の量を減らしているんだね。



今回、梨の生産現場におじゃまして、農家の方がたくさんの手間をかけて梨を栽培されていることが分かったよ。8月は梨の出荷が最も多くなる時期。みんなも大垣の梨を食べて暑い夏を乗り切ろう！

